

TVスタンド
取扱い及び組立説明書

PDR-WJ1150BK・PDR-WJ1150DW

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧いただき、正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。

組み立て前にお読みください

- 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
- 組み立ての際は、付属工具をお使いください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷つけないよう、十分ご注意ください。
- 移動の際、天板を持って持ち上げないでください。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

ガラス製品に対してのご注意

ガラスには強化処理及び飛散防止フィルムの貼付を施していますが、お取扱いには十分ご注意ください。

ガラスの傷や欠けによって、ガラスが破損しやすくなったり、突然破損することがあります。また、破損の際に、ガラスの破片が飛び散りケガの原因となりますので、お取扱いに十分ご注意ください、以下に従ってご使用ください。

- ガラスに傷や欠けが確認できた時は、ご使用中を中止してください。
- ガラスに物をぶつけたり、鋭利な物で突いたり、傷つけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ガラス扉の場合、ガラス扉が開いている状態で移動したり、ガラス扉を持って移動しないでください。
- 万が一、ガラスが破損した場合は、ガラスの破片を素手で触らないでください。

設置物についてのご注意

- AV機器・ゲーム機などの設置・使用に関しては、それらに付属する取扱い説明書に従ってください。
- 設置・使用方法に誤りがあると、故障・破損などの原因となります。

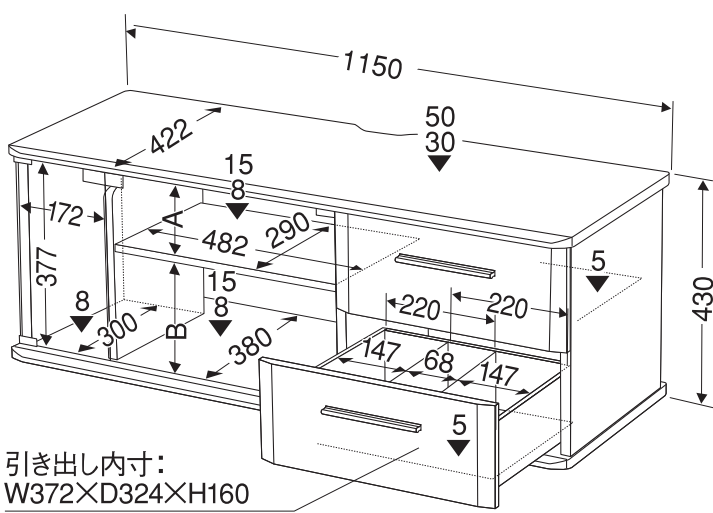
製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関する
お問い合わせは

●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間
9:00～19:00

年中無休



引き出し内寸：
W372×D324×H160

※可変棚の取り付けの高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	118	150	182
B	242	210	178

耐荷重
(▼Kg)

総耐荷重:80kg

■総耐荷重

製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにしてください

■平均分布耐荷重 (図面中の上の数値)

天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にしてください

■中心付近耐荷重 (図面の下の数値)

載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

マーク一覧

注

このマークのある
組み立ては、特に
気を付けて行って
ください。

付属工具を
使った
組み立てが
あります。

ドライバー
を使った
組み立てが
あります。

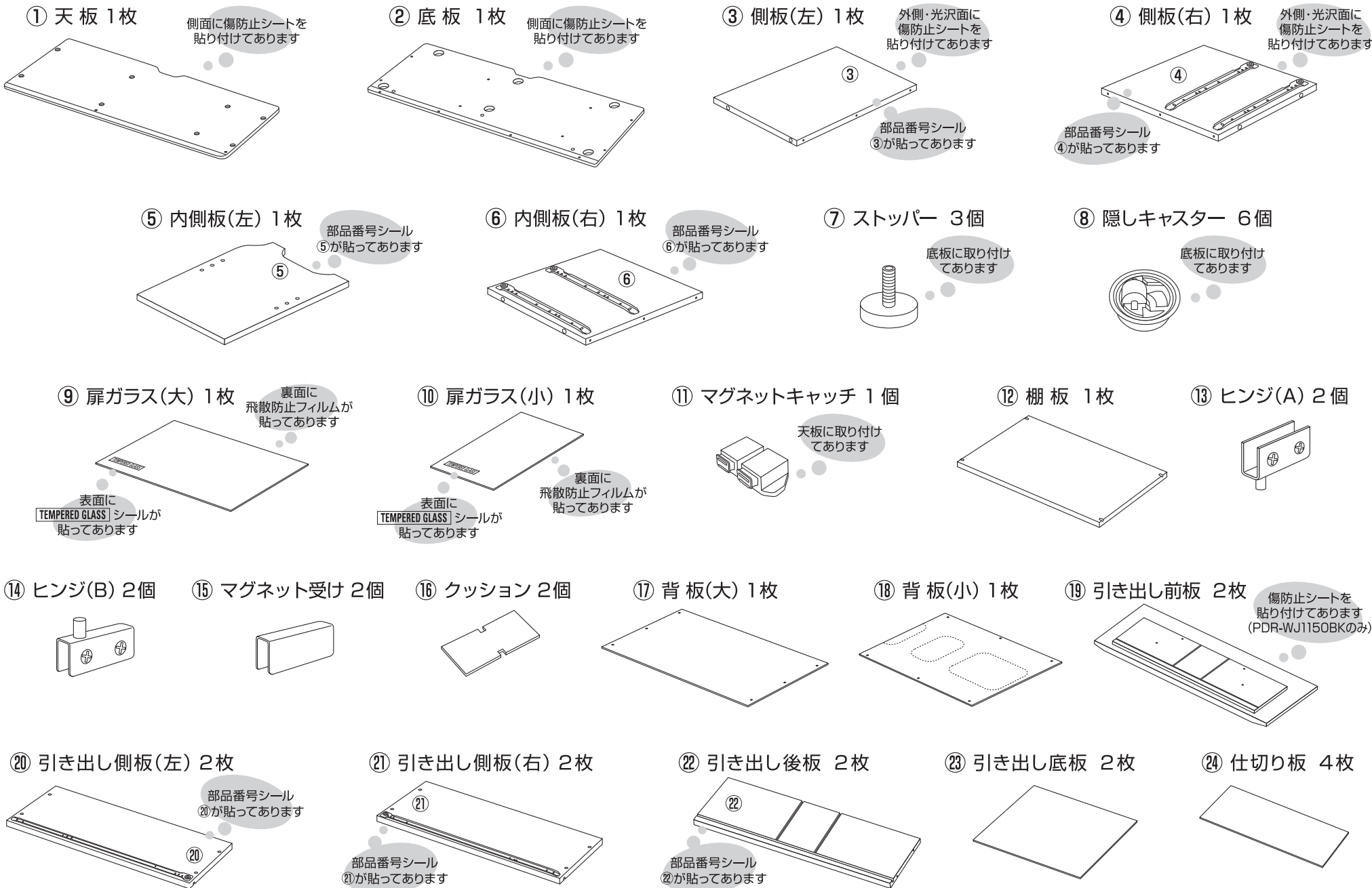
2人以上で
作業を行っ
て下さい。

組み立てに
左右共通の
パーツを
使用します。

右用と左用とで
部材の形状が異
なります。
組み立て間違い
のないようご注
意下さい。

部品一覧

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。



Ⓐ ボルト (M6×38) 9本 (内1本は 予備です)	Ⓒ 木ネジ (小) 13本 (内1本は 予備です)	Ⓔ 棚ダボ 4本	Ⓖ 穴隠しキャップ 4個 (内1本は 予備です)
Ⓑ ボルト (M4×30) 5本 (内1本は 予備です)	Ⓓ 木ネジ (大) 17本 (内1本は 予備です)	Ⓕ 取っ手 2本	六角レンチ (+ドライバー付) 付属 工具 1本

組立説明

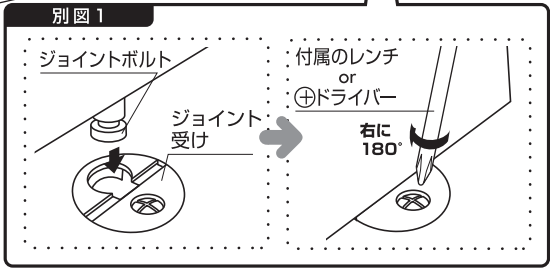
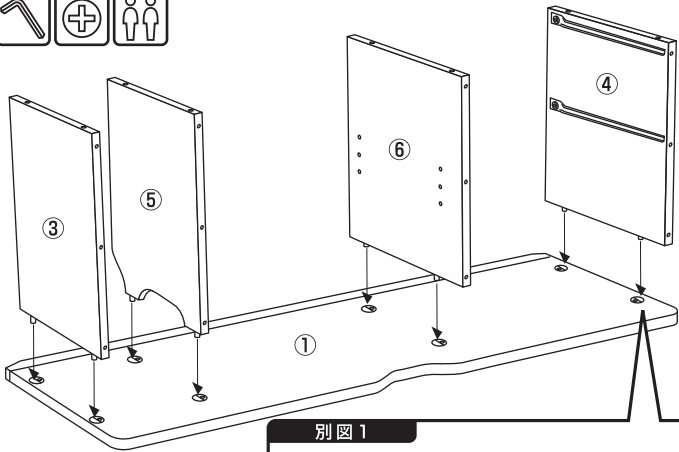
※本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行ってください。
※床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立ててください。

使用する工具&ご用意いただくもの

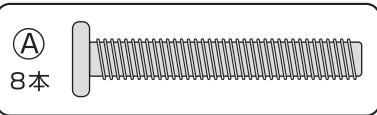
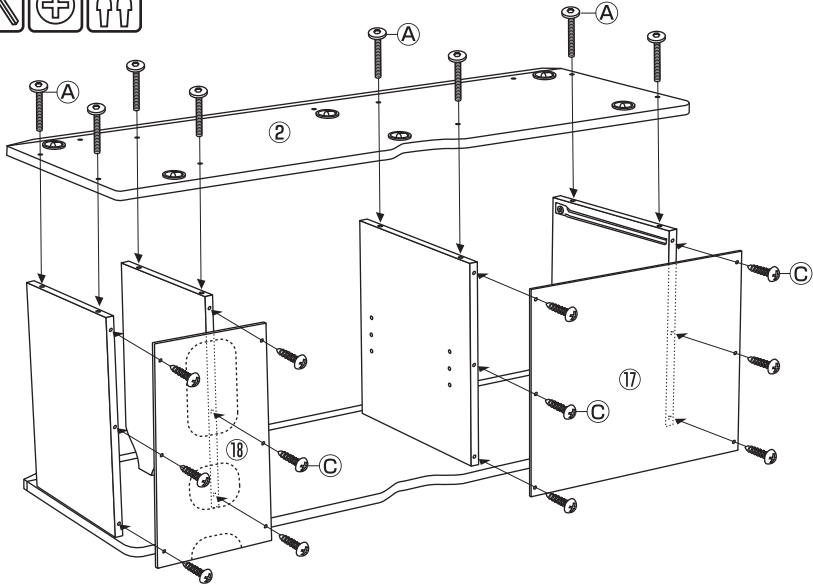


本製品には、製品の光沢面を保護するため、傷防止シートを貼っている部品があります。シート自体に加工や輸送でついた傷がある場合がありますが、製品への影響はございません。

- 1
- I. 天板①を裏返しに置き、図のように側板③、④、内側板⑤、⑥のジョイントをジョイント受けに差し込みます。
- II. ⊕ドライバーで、各2ヶ所のジョイント受けの⊕ネジを、右に180° 締め付けます。(別図1参照)



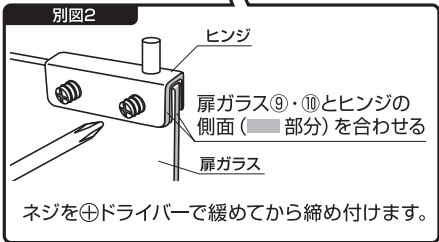
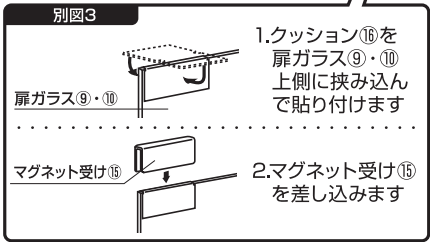
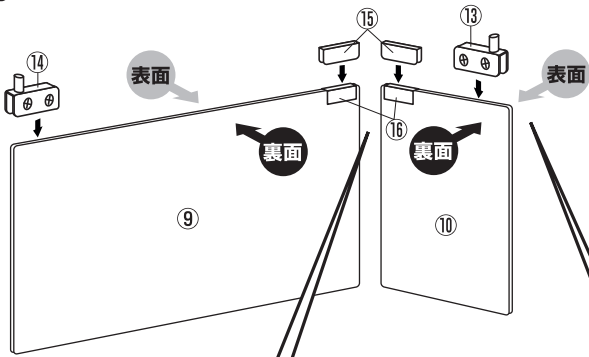
- 2
- 注** 木ネジを過剰に強い力で締めると、空回りし固定できなくなります。
- I. 付属のレンチを使用して、底板②をボルトⒶで固定します。
- II. ⊕ドライバーで、背板(大)⑮、背板(小)⑯を木ネジ(小)Ⓒで締め付けます。



- 3
- 注** 表面に「TEMPERED GLASS」シールが貼ってあります。
- I. 扉ガラス(大)⑨、扉ガラス(小)⑩の表裏に注意して、上側にヒンジ(A)⑬、ヒンジ(B)⑭を⊕ドライバーで締め付けます。(別図2参照)

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- II. 次に、クッション⑮を挟み込み、マグネット受け⑮を取り付けます。(別図3参照)

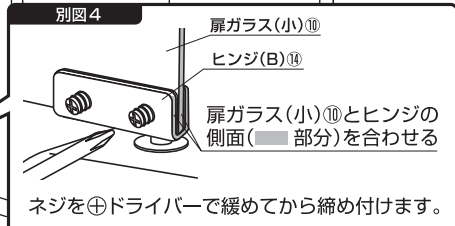
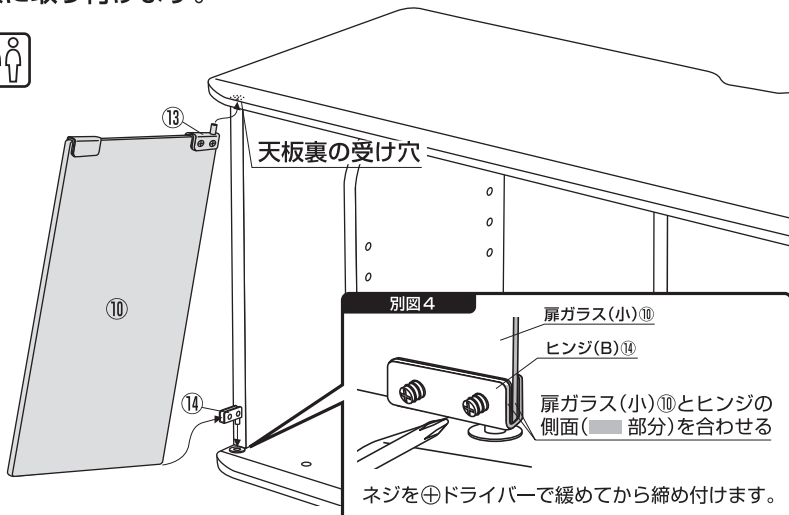


- 4
- 注** 以下の順番通りに組み立ててください。(もしも順番が異なると無理な取り付けとなり、ガラスが割れケガの原因となる恐れがあります。)

注 ガラス取り付け時には、床にダンボール等を必ず敷いて組み立ててください。ガラスが床に落ちた場合、ガラスが割れる恐れがあります。

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- I. 本体を2人で立て起こします。
- II. ヒンジ(B)⑭を底板の軸受けの穴に差し込みます。
- III. 図のように、扉ガラス(小)⑩の表裏に注意して、上側のヒンジ(A)⑬を天板裏の受け穴に斜めにして差し込み、ガラス扉の下側をヒンジ(B)⑭の溝に差し込み⊕ドライバーで締め付けます。(別図4参照)
- IV. 右側の扉ガラス(大)⑨は、ヒンジ(A)⑬を底板の軸受けの穴に差し込み、同様に取り付けます。



ガラス扉の調節方法

ガラス扉のズレが発生した場合、上下ヒンジのいずれかのネジを⊕ドライバーで一ヶ所ずつ緩め、ガラス扉をズレがないよう調節し、再度⊕ドライバーで締め付けます。

注 上下のヒンジのネジを同時に緩めると、ガラスが床に落ちガラスの割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

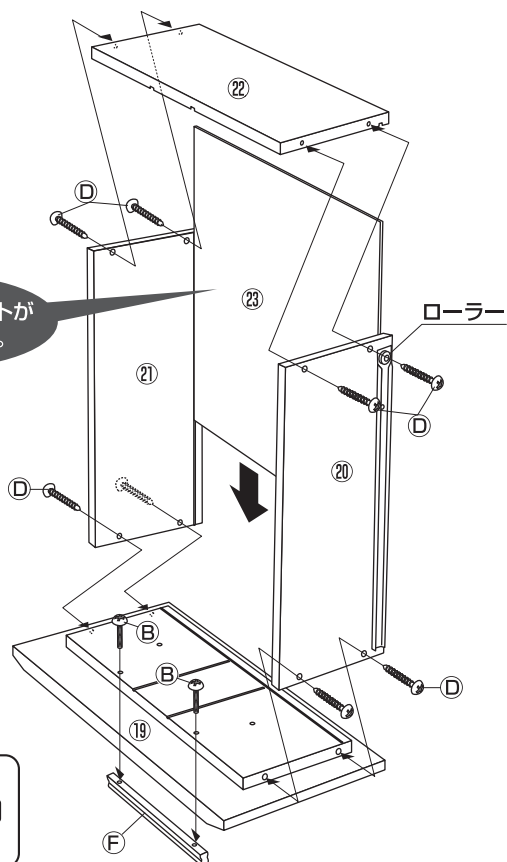
5

注 木ネジを過剰に強い力で締めると、空回りし固定できなくなります。

- 引き出し前板⑮を裏返しに置き、図のように外側後方にローラーがくるように、⊕ドライバーで引き出し側板(左)⑳、引き出し側板(右)㉑を木ネジ(大)㉒で締め付けます。
- 引き出し底板㉓の表裏に注意して、図のように溝に差し込みます。
- 引き出し後板㉔の表裏に注意して、図のように木ネジ(大)㉒を⊕ドライバーで締め付けます。
- 表面の傷防止シートを剥がします。
- ⊕ドライバーで、取っ手㉕をボルト㉖で締め付けます。
- 同様に、もう一つの引き出しを組み立てます。



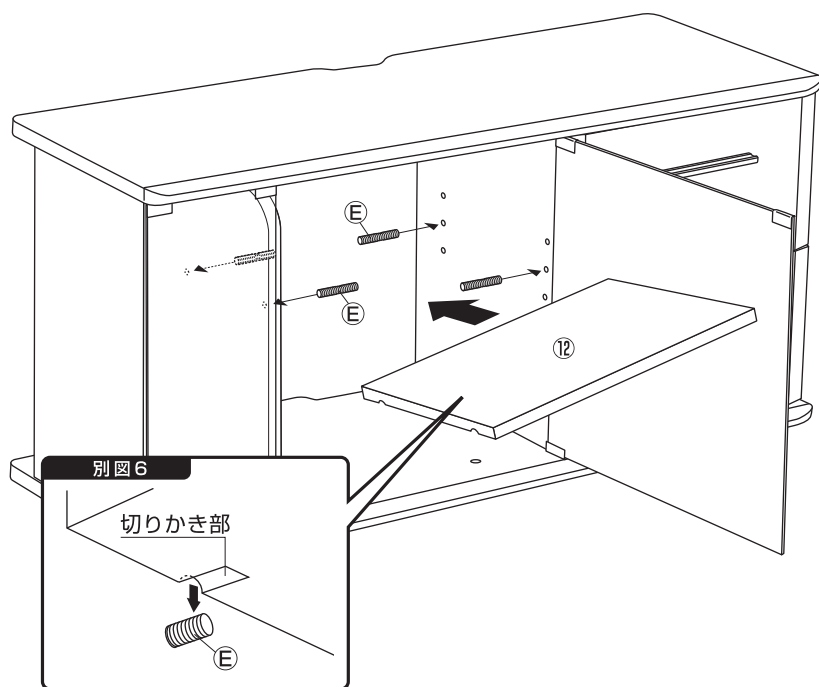
上面には黒いシートが貼ってあります。



㉖
4本

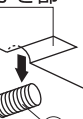
7

- お好みの高さに、棚受けダボ㉗を取り付け、棚板⑫を正面から斜めにして差し込み、切りかき部をはめ込みます。(別図6参照)
- 最後に、傷防止シートを全て剥がしてご使用ください。

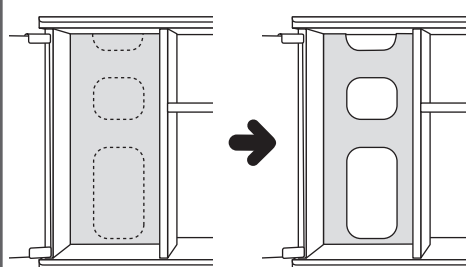


別図6

切りかき部



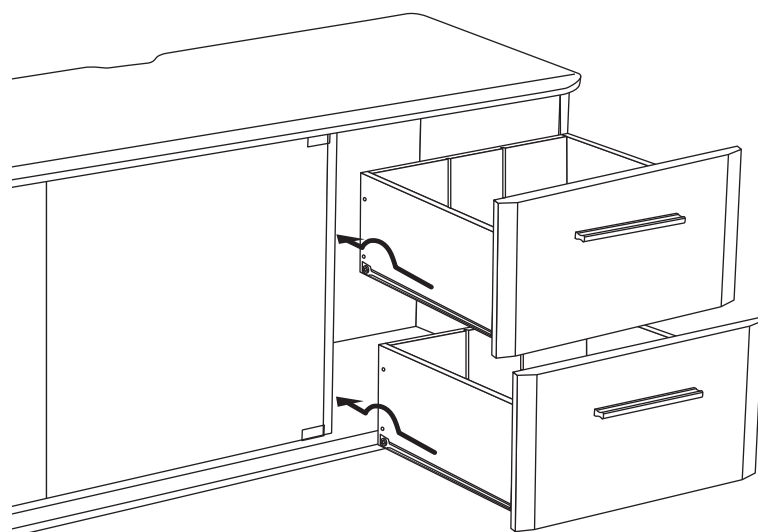
左収納部の背板について



左収納内部に背板(小)には、配線に便利な開口穴加工を設けています。お好みに応じて抜き取り、ご使用ください。
※抜き取った穴は、元に戻せません。

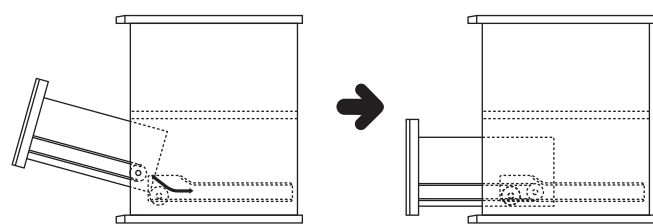
6

- 図のように、行程⑤で組み立てた引き出しを、本体レール部分に差し入れます。(別図5参照)



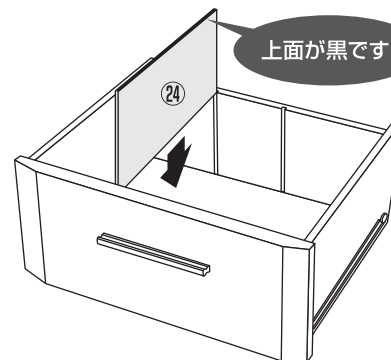
別図5

引き出しを斜めにして差し込みます。



仕切り板の使用法

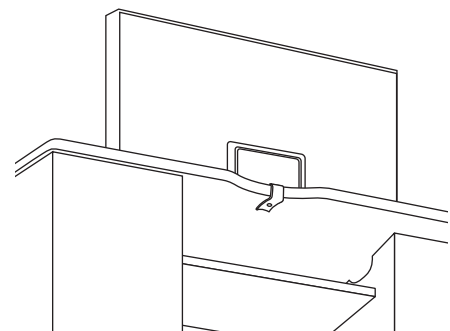
仕切り板㉔を引き出しの内側溝に差し入れる事で、引き出しを仕切ることができます。
CDやDVDの整理に便利です。
(仕切り板ご使用の際は、一度引き出しを本体から取り出して差し入れてください。)



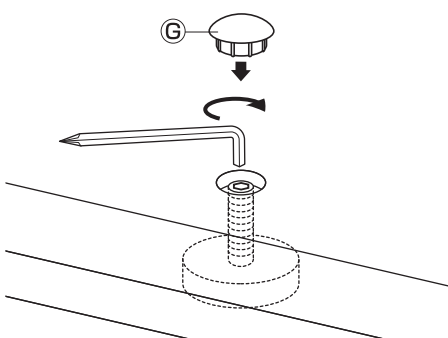
天板裏にある穴について

テレビによっては転倒防止バンド・ベルトを付属している場合があります。本製品には転倒防止バンド・ベルトを固定するための穴が天板裏面3箇所あります。お好みに応じて、テレビの説明書を参考にご使用ください。

- ※転倒防止バンド・ベルトによっては使用できない場合があります。
- ※テレビによっては使用できない場合があります。
- ※後方には倒れます。ケガなどの原因となりますので、固定後は本製品を壁などに近づけて設置し、小さなお子様が入れないようにしてください。
- ※本機能は揺れによるテレビの転倒を最小限にくい止めるのが目的であり、万一お客様やテレビ・家具等に損害が生じた場合、販売元及び輸入元また製造元とも、その補償をお約束するものではありません。



ストッパーの使用法



底板の左右・中央3ヶ所にストッパーの六角穴があります。

付属のレンチを使用して、右に回すとストッパーが下がり、前部キャスターを床から浮かせてTVスタンドを安定させることができます。
(天板にTV等載せたまま作業や移動を行わないでください。転倒の危険があり危険です。)
穴は穴隠しキャップ㉚で塞ぐことができます。